

キッズみんなの日記

5月号

今年、ボカボカ陽気をあまり楽しめないまま春が過ぎていきました。でも、桜の花は長く楽しめましたね。楽しい連休を目前に控え、ようやく陽気も良くなり、心も弾みますね。さて、今月の優秀作品は「長文」かつ、とても上手にまとまっている日記を紹介しします。文章を長く書くことと一日の出来事を順にタラタラと書いてしまいがちですね。そうした日記をよく見かけます。掲載作品では、それぞれうまく技法を使っています。また、きちんとテーマを意識して文章を書いていますね。

優秀作品紹介

★「会話」「セリフ」を効果的に使う★

四年ぶりに会ったよ!

今日、わたしは、ふた子のお友達に会いました。そのお友達は、耳が聞こえないのです。一人はほちようき、もう一人はほちようきと人工内耳をつけていました。人工内耳とは、耳がまったく聞こえない子がそれをつけて頭に音をとどけるきかいです。そして、わたしと、その人工内耳をつけた子が話してみると、なんと、ふつうのしゃべりかたでした。わたしはその子と会う前、
 「耳が聞こえないからしゃべりにくいかなあ。本当につづるかなあ。」
 と、心ばいでした。けれども、すごく上手におしゃべりをしていました。わたしのお母さんも、
 「おしゃべりが上手ね。」
 と、言っていました。そして、もう一人は、さっきの子よりも上手でした。すぐに、わたしたちの名前もおぼえてくれました。
 そして、ボールプールであそんでいたらふたりともが「クルクル回りますよあそびたいなあ。」
 と、言いました。そして、わたしたちは、いすを回してあげました。わたしたちが、

「目が回らないの?」
 とたずねると、その子たちのお母さんが、
 「耳が聞こえないと、よったり、目が回ったりしないのよ。」
 と、教えてくれました。わたしは、びっくりしました。わかれるとき、手話の歌を歌ってあげました。みんなが、うんうんと首をたてにふりながら聞いてくれました。
 今日一日は、はじめてけいけんしたことがたくさんありました。
 「けんこうに生まれてきてくれてありがとう。」
 と、お母さんが言っていました。
 耳が不自由でも、ふつうの人と同じ生活をしているんだなあと思いました。でも、けんこうなことは、ありがたいと思いました。(小三・NAさん)

耳が不自由なお友達のことを誰にでもわかるよう上手に紹介していますね。また、Aちゃんの会うまでの不安、会ってからの驚きをとでも生き生きと表現しています。自分のことだけでなく、相手、お母さん、お友達のお母さんなどにも目を向け、会話を効果的に使い、その場の雰囲気や、それぞれの気持ちを上手に表現しています。お見事です!

★五感を働かせ、比喻を使って生き生きと★

春

今日は、学校で初めての理科の授業がありました。題名は、「春を見つけてよう」です。
 サクラを見た後、タンポポ



を見つけてきました。真っ黄色できれいでした。でも、その真ん中に黒いのがぼつんといたので、よく見てみるとアリでした。(みつを集めているのかな。)と思いました。友達がナナホシテントウを見つけてきました。真っ赤な体に黒点、とてもあざやかでした。竹の子も顔をよきりと出していました。顔をだしているのは、竹の子だけではありませんでした。ものすごく奇妙な、あみがさ茸というは



ちの巣のようなきのこを見つけました。最後は、菜の花を見ました。黄色一色でとてもきれいでした。

春は色々な色があつてカラフルだなく、と思いました。今日は、きれいな物がたくさん見られて楽しかったです。(小三・YK君)

春の生物の「色」に目を向け、上手に的を絞って書きましたね。また、「擬人法」や「比喻」を使い、わかりやすく、生き生きと表現してあります。文章を読んでいるこちらにも、色とりどりの草花や昆虫が、あたかも目の前にあるかのように感じます。このように、五感「視覚・聴覚・触覚・味覚・臭覚」を働かせる生き生きとした文章になりますね。

★強弱をつけメリハリのある文章に★

社会科学見学

今日、社会科学見学がありました。ルートは、市川大野駅から東松戸まで行き、乗り換えて北国分までいきました。そして、しばらく歩き博物館につききました。まず、最初は火起こし体験です。前の人が成功し、ぼくの番になりました。まず、木のぼうと板をこすってきをけずり、まさつで熱くなったものを火の種といひます。火吹き竹で風をおくり、火を綿に点火させておかくずをかけます。そして、竹の上のせて火がついたら成功です。ぼくは、少し時間がかかったけど火を点火させることができたのでうれしかったです。

次に、貝塚見学です。歩いていたら、下からバキツ、ポキツという音がしたので、なんだろうと思っていたら貝でした。なんで落ちていたのか不思議でした。ボランティアの人が「昔住んでいた人が食べて捨てたあとだよ。」と、説明してくれました。

次に、博物館見学がありました。時間が15分しかなかったのですが、よく見えないまま終わってしまいました。でも、一番いんしょう的だったのは、昔の人の暮らしのまけいでした。また、行きたいです。(小六・NT君)

火おこしの手順の説明が上手いですね。難しい過程を説明し少し苦労をしたことを書くことで、成功したときの喜びを上手に強調しています。そして、何よりも、現地へ着くまでの過程はサラッと軽く、印象に残った「火起こし」にスポットをあて、上手く書き広げること文章に上手くメリハリをつけましたね。

●今月の『伊藤先生のおすすめ本』のコーナーは紙面の都合によりお休みさせていただきます。ご了承ください。